

\*\*\*\*\*



広報

かんべ

\*\*\*\*\*

発行日 平成22年8月15日第10号  
編集・発行 神戸地区市民センター  
(神戸公民館・神戸地区住民自治協議会)  
電話・FAX 38-1300  
E-mail kanb-a15@ict.ne.jp



## 笑いの講座を開きます！

予告

笑いの講座、第3弾を計画しています。  
今回は“大いに食べて、大いに笑う「カラダ」と「ココロ」の健康づくり”  
と題して、笑いプロジェクト所属の高野隆宏さん（ユーモアコンサルタント・  
肥満予防健康管理士）にお話をさせていただきます。

～前向きな人生は「健康」から。「カラダ」と「ココロ」は健康の両輪～  
最後には落語もありますのでお楽しみ下さい。

**日時：9月24日（金）13：30～ 神戸地区市民センターで開催**  
詳しくは次回広報でお知らせしますので、お見逃しなく！



## かんべいきいき市（青空市場）まだまだ募集しています

広報かんべ7月15日号の折り込みチラシですすでにご承知のとおり、神戸地区住民自治協議会産業部会では、元気で生き生きした神戸のまちづくりを進めるため、「かんべいきいき市（青空市場）」を開設することにしました。10月9日（土）、城之越遺跡で開催の「竹

- ◆参加資格 神戸地区に在住の個人、団体、グループの方  
区外の方は趣旨に賛同できる方
- ◆参加料 1,000円（初回のみ）
- ◆販売手数料 売上の15%（運営費に充当します）
- ◆申込・お問い合わせ 神戸地区市民センター  
電話・FAX 38-1300

灯り幽玄祭」に第1回目の開店を予定しています。以降、毎月1回「JAかんべふれあい店」前に開店する計画です。  
野菜・果実・花など、皆様が大切に育てられた案心・安全な作物をぜひ活かして下さい。  
ご参加をお待ちしています。

## ～ 第25回上野同和教育研究協議会研究大会開催 ～

大会テーマ：「差別のない明るい市民社会」の実現をめざして

記念講演 演題：「橋はかかる～被差別部落に生まれ育って～」 講師：村崎 太郎さん  
日時：平成22年8月22日（日）10：30～ 場所：伊賀市文化会館

一昨年、被差別部落出身であることを公にした猿まわし芸人・村崎太郎さん（17歳で初代次郎とコンビを結成し、日本に途絶えた猿まわしを復活、次郎の“反省”ポーズで全国的な人気者になる）の講演が開催されます。多数ご参加ください。当日は全体会として伊賀市文化会館、午後は分科会として3会場に分かれて取り組みをされます。

## ヘルストロンが和室に移動！ご利用ください

神戸地区市民センター洋室に設置されていた「ヘルストロン（高圧電位治療器）」を和室に移動しました。ヘルストロンは高電圧によって作り出された電界の中に体を置くことで、血液の循環を促し、健康の増進や維持に役に立つものです。【主な効能効果】頭痛・肩こり・慢性便秘・不眠症など 【利用時間】平日8：30～17：00 ゆったりと20分間お座りください。

3席ありますので、ご近所お誘い合わせて語らいの場としても、ぜひご利用ください。

# 新区長さんより **ちよつと** ひとこと

## 市庁舎建設について思うこと

下神戸区長 森本 昭牛

残暑ひとしお身にこたえる日が続いております。皆さまには、益々ご健勝のこととお喜び申し上げます。

この度、下神戸区長を仰せつかり4ヶ月余り経過致しました。総会や住民自治協議会の役員会及び諸活動に緊張と戸惑いの連続でございますが、日々その責任の重さを痛感しているところであります。

さて、市庁舎建設について、様々な意見が相次ぐなか、庁舎建設検討委員会から2案の答申が示されました。

そのいずれの案についても現在地での建て替え及び改修案で、6月の定例市議会的一般質問のなかで、現在地での建て替えについて、仮庁舎建設に伴う費用や市民全体の利便性などについて様々な問題が提起されました。

庁舎の位置については、交通アクセスや駐車台数の十分な確保など市民の利便性から伊賀市の中心的な位置となります四十九町の三重県伊賀庁舎周辺が、最適地と考えるものであります。

また、現庁舎地は、中心市街地の活性化を図る上において観光資源の活用を望まれるもので、観光の拠点施設（観光バス等の駐車場）として整備し、俳聖松尾芭蕉の生誕地、伊賀忍者の発祥の地、城下町としての歴史と文化の漂うこの歴史的資源をもって、市街地へ観光客を呼び込み、まちを回遊したくなるような拠点や店づくりを進めることにおいて市街地が賑わい、当市の観光振興に繋がることから再考を願いたいものであります。

最後になりましたが、当地域においても小学校の耐震補強、上野南地区中学校の統廃合に伴う通学路等の整備、木津川の河川改修、県道上野名張線バイパス建設など様々な課題が山積みしておりますので、住民自治協議会の一員として微力ではございますが地域発展のため、努力を行ってまいりますので今後とも皆様方のご支援ご指導を賜りますようお願い申し上げます。



## 住民自治協議会部会部長の抱負

産業部長 永瀆 文隆

月末には稲刈りが始まり、秋野菜の播種時期になってまいりました。

本年度4月より、住民自治協議会産業部長に任命されました永瀆です。

産業部は従来集落営農組織化・活性化に向け、先進地視察、また講師を招いて研修会等開催されて来ましたが、2地区で取り組みをされ、進められておりますが、他地区では進められておりません。

平成20年度に「地域における農業の現状と今後のあり方」について、実態調査が実施されました。結果は21年3月に報告されましたが、回収農家214戸の61%の方が、集落で話し合い水田を守ると言われています。やはりそれぞれの区・小場単位で話し合い、取り組んでいただく事が肝要かと思えます。

平成22年度の取り組みは、①集団営農の推進 ②鳥獣害対策の推進（高瀬地区で防柵の設置）③青空市（かんべいきいき市）の推進の3項目ですが、本年度ぜひ成功させたいのが青空市場でございます。7月15日に「かんべいきいき市（青空市場）」の出店を、7月30日期限で募集させていただきましたが、まだ出店数が少なく、今からでも結構です。自家用の安心・安全・新鮮な、食べきれない野菜を活用する気持ちで、出店申し込みをお願い致します。

